

## 1 内政

### (1) 新しい国家訴訟代理局長の任命

1日、モラレス大統領は、アナベラ・モルフィン氏を新たな国家訴訟代理局長に任命した。同任命は、ビジャグラン前国家訴訟代理局長が5月31日に辞職したことを受けたものである。モルフィン新国家訴訟代理局長は、憲法に特化した当国のシンクタンクである憲法弁護センターの創設者であり、以前は同センターの代表も務めていた。

### (2) ペレス・モリーナ元大統領とバルデッティ元副大統領の新たな汚職事件の発覚

2日、検察庁とグアテマラ無処罰問題対策国際委員会（C I C I G）は、ペレス・モリーナ元大統領とバルデッティ元副大統領が、自身が設立したペーパーカンパニーを通して、政府による事業発注の見返りにテレビ局や建設会社などから賄賂を受け取っていたとする新たな贈収賄事件を摘発した。賄賂の総額は約5億ケツアル（約75億円）。両者は、受け取った資金を、不動産、車、飛行機、ヘリコプター、ボート、衣服などの購入や公共サービスへの支払いに使っていたとされる。

### (3) 最高裁による野党議員3人に対する不逮捕特権剥奪請求の手続き開始決定

8日、最高裁は、給料だけ支払われる幽霊職員ポストを作り不正な契約を行った罪に関して、3人の国会議員に対する検察庁による不逮捕特権剥奪請求の手続き開始を決定した。対象となる3人の国会議員は、本事件の中心人物である前国会議長のルイス・ラベ市民連合党（AC）議員、前国会副議長のアリスティデス・クレスポ改革運動党（MR）議員とマヌエル・ガルシア改革運動党議員である。

### (4) ペレス・モリーナ政権の大臣による汚職事件の発覚

11日、検察庁とC I C I Gは、ペレス・モリーナ政権の大臣5名がマネーロンダリングに関わったとする汚職事件を公表した。5名の内、ロペス元国防大臣、アンスエト元国防大臣、ロペス元内務大臣が逮捕され、シニバルディ元通信大臣及びアルチラ元エネルギー鉱山大臣に逮捕命令が出された。検察庁とC I C I Gによると、5名はペレス・モリーナ元大統領とバルデッティ元副大統領にヘリコプター、ボート、別荘などを贈るために国のお金を合計で約482万米ドル不正に使用したと見られている。

### (5) 検察庁とC I C I Gによる野党議員に対する不逮捕特権剥奪請求

16日、検察庁とC I C I Gは、ブシノットみんなの党（TODOS）議員に対して不逮捕特権剥奪請求を行った。C I C I Gによると同議員は、自分の知人を国会職員として雇用し、国会で仕事をさせる代わりに、同議員の家族のための家の建設や同議員のマンションのメンテナンスなどに従事させていた。本件に関して、29日、最高裁は同議員に対する不逮捕特権剥奪請求の手続き開始を決定した。

## (6) 新たな最高裁裁判官の就任

24日、汚職に関与した疑いで先月辞職したアギラル最高裁裁判官の後任として、国会により任命されたマリア・モラレス氏が新たな最高裁裁判官に就任した。モラレス新最高裁裁判官は、司法セクターで34年のキャリアがあり、以前は憲法裁判所や国家訴訟代理局での勤務経験がある。

## 2 外交

### (1) グアテマラとホンジュラスの税関統一：閣僚級合意

6日、モラレス・モンロイ当国経済大臣及びカスティージョ・ホンジュラス経済開発大臣は、ホンジュラスにおいて会合を開き、税関統一に関する合意書に署名した。今般の署名により、中米経済統合銀行（BCIE）は、税関統一の実行プロセスに使われる150万米ドルを税関統一構造基金に投資する予定である他、両国政府はそれぞれ500万米ドルを同基金へ収めることが義務づけられる。また、今後5、6ヶ月以内に税関統一の施行手続きに入る予定である。

### (2) モラレス大統領のSICA首脳会合出席

29日、モラレス大統領はホンジュラスのロアタン島で開催されたSICA首脳会合に出席した。同会合には、エルナンデス・ホンジュラス大統領、サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領、バレーラ・パナマ大統領、メディーナ・ドミニカ共和国大統領、エルリントン・ベリーズ外相、ソラーノ・コスタリカ外務次官、モンカダ・ニカラグア大統領府顧問大臣兼OAS代表部大使が出席した。会合の中で、モラレス大統領は中米統合の重要性を強調し、特に中米地域の経済発展を促進することが重要であるとの考えを述べた。

## 3 経済

### (1) 国立統計院による5月の当国消費者物価指数及びインフレ率の発表

7日、国立統計院は、5月の当国消費者物価指数及びインフレ率を発表した。インフレ率は前年同月比4.36%に留まった一方、食品及びノンアルコール飲料の物価上昇率は9.97%に上った。価格の上昇が顕著だった食品にはタマネギ、ジャガイモ、トマト及びトルティージャが含まれる。

### (2) ECLACによるラテンアメリカ・カリブ地域に対する海外直接投資額発表

15日、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）は、ラテンアメリカ・カリブ地域に対する2015年の海外直接投資額を発表した。ECLACの報告によると、2015年のグアテマラに対する海外直接投資額は、2014年比13%減となる12億900万米ドルであった。同額は2012年以降最低水準である。中米地域への海外直接投資額は118億米ドルに上り、内43%がパナマ、26%がコスタリカ、グアテマラとホンジュラスへの投資がそれぞれ10%で続いた。

(3) ムーディーズ投資サービスの当国リスク評価の改善

30日、ムーディーズ投資サービスが当国に対する年間レポートを発表し、当国のリスク評価がネガティブから安定に戻ったと報告した。2015年のレポートでは、政治情勢の不安から当国のリスク評価が安定からネガティブに下がっていた。今年のレポートは、評価が改善した理由として、経済の安定、汚職に対する戦い、政府の透明性確保に対する努力、政府が予算実行の際に説明責任を果たしていることなどを評価したためと説明している。

◇主要経済指標◇	2016年			2015年	2014年
	6月	5月	4月		
インフレ率（前年同月比）	未発表	4.36%	4.09%	3.07%	2.95%
貿易収支(百万ドル)	未発表	未発表	△499.0	△6,913.1	△7,477.6
輸出(百万ドル)	未発表	未発表	939.4	10,726.2	10,804.1
輸入(百万ドル)	未発表	未発表	1438.4	17639.3	18,281.8
外貨準備高（百万ドル）	未発表	8549.2	7675.3	7,751.2	7,333.4
外国からの送金（百万ドル）	614.7	625.3	609.3	6,285.0	5,544.1
為替レート（対ドル月平均）	7.64	7.66	7.73	7.65	7.73

（出所：中銀、国立統計院）

注）2014年及び2015年の為替レートは年平均